

町報

(昭和46年10月1日発行)

発行所
岐阜県加茂郡川辺町
編集
川辺町役場総務課
印刷
中部印刷株式会社



今日も元気で

ひ孫とわら細工に余念のない木下で津さん

新議員きまる

副議長 中西 鉞郎氏

改選後初の町議会が九月八日開かれ、八件を審議、決定しました。新しい議長、副議長の選挙も行なわれ、議長に有本九十九氏、副議長に中西鉞郎氏が選ばれました。また常任委員会の委員も決まりました。

常任委員会の構成

- 町議会の常任委員会の皆さんは次のとおりです。◎印は委員長、○印は副委員長です。(敬称略順不同)
- 〔総務委員会〕
 - ◎ 交告米一 ○ 小森利夫、遠藤稔
 - 有本九十九、桜井市太郎
 - 〔産業経済委員会〕
 - ◎ 牧田信夫 ○ 加藤護、古田隆、船戸進、佐伯勇
 - 〔土木委員会〕
 - ◎ 伊藤新市 ○ 大谷行雄、馬場丈夫、渡辺謙司、高井信孝、中西鉞郎
- このほか、定例会で決まったことは次のとおりです。(敬称略)

明るい町づくりに努力

議長 有本九十九

町議会の任期満了による一般選挙により、新たに選出されました十六名の町議会議員の初の議会におきまして不肖私がはからずも議長に就任いたしました。申すまでもなく私たちは町民の皆さんより選ばれた代表者であります。町民皆さんの声を町政に反映させ、積極的に町政に協力していきたく存じておりますので、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本年度は、都市計画による道路

網の整備、下水路の建設をはじめ木曾川右岸用水事業に伴うほ場整備などの諸事業が進められます。なお、今後においては、川辺大橋の架設、第二小学校の統合建設などの大事業が見込まれておりますが、これらをおし進めるとともに、これらをおし進めるとともに、にじんあい処理などの環境整備、住宅建設など明るい町づくりを図り、町政の発展、町民の福利増進のため最善をつくして参る所存でありますので、皆様のご協力をお願いして、ごあいさついたします。



佐伯栄一氏(69) 元町議

- ▽ 監査委員(議会選出) 佐伯勇
- ▽ 農業共済事業運営協議会委員(議会選出) 加藤護、遠藤稔、大谷行雄(町との間に共済関係の存する者) 鈴木百夫(下川辺) 西垣兼茂(中川辺)(学識経験者) 武市隆雄(上川辺) 大脇寿伸(農協参事)
- ▽ 農業共済事業損害評価会委員(農作部) 大脇寿伸(農協参事) 森武雄(駐在員) 野村芳隆(町職員)(蚕繭部) 小島衛(駐在員) 丹羽光二(同) 堀井稔(町職員)(家畜部) 小原幹男(農協職員) 小森進(町職員) 桑畑康彦(同) 村上英喜(同)
- ▽ 教育委員会委員 清水雅彦(再任)
- ▽ 固定資産評価審査委員会委員 井戸数三郎氏(下麻生)の辞任により、後任として佐伯栄一氏(下麻生下夕町)を選任しました。

しよみ



- 10・4 町議会臨時会(総務課)
- 10・5・8 住民検診(住民課)
- 11・12 狂犬病予防注射地区別敬老会(産業課)
- 10月上旬 営農会議 農業委員会 共済運営協議会 産業経済委員会(町有林視察)
- 10月中旬 木曾川右岸用水左岸幹線用地対策説明会(企画)
- 10月10日 決定の見込み(教育委員会)
- 10月3日 上米田小運動会
- 10日 第二回全国女子選手権競漕大会
- 町民運動会(中部中グランド)
- 12日 一市二郡中学校教育指導研究会(中部中)
- 19日 体育発表会(川辺小)

町政のいない手

議長 有本九十九氏

(議席順敬称略)



小森利夫
(61) 会社役員



船戸進
(37) 国鉄職員



大谷行雄
(46) 農業



有本九十九
(70) 会社社長



佐伯勇
(68) 農業



古田隆
(41) タイル加工業



交告米一
(62) 食品販売



渡辺諫司
(61) 会社社長



伊藤新市
(64) 無職



桜井市太郎
(57) 農業



高井信孝
(53) 木工業



遠藤稔
(47) 農業



牧田信夫
(52) 製菓業



加藤護
(63) 農業



中西鉞郎
(61) 製材業



馬場丈夫
(44) 建材業

おばあちゃん よかったね！



おとしよりにうれしいニュース

75歳以上に療養費を

10月1日から実施

町では十月一日から、町内の七十五歳以上のすべてのおとしよりに老人療養費を支給することにいたしました。

これは老人福祉の一環として、おとしよりのおられる家庭の医療費の負担を少しでも軽くして、明るい幸せな家庭を築いていただくというものです。

療養費の支給は次の要領により行ないます。

◎支給の対象になる人

川辺町に住んでおられる満七十五歳以上の人です。ただし、健康保険法の規定により全額給付を受ける人や、他の法令等に基づいて全額公費負担の人は除きます。

◎次の場合は、届出が必要です。届出用紙は役場にあります。イ受給資格を取得したとき

口受給資格を喪失したとき
ハ住所又は氏名変更したとき
ニ保険者の変更があったとき
ホ各種保険の給付率又は付加給付について変動があったとき

でない電話の悩み解消へ

電話自動化を要望

町の電話の加入状況は、九月一日現在で普通電話二百七十人、共同六十七人、地域集団電話千二十七人、あわせて千四百六十四人です。さらに新しく加入申込のものは、普通電話三百二十二、地集電話六百五十人もあります。

中部圏開発地域の指定にとともに、今後ますます活性化する産業活動に対処するには、現在の通話方式では困難となり、他の自動化された市町村にくらべその産業活動はいちじるしく制約されるものです。都市計画の遂行にあたって

通信行政の改善は、重要課題であり、早急に実施しなければなりません。また、昭和四十一年十二月に開通した地集電話も一集団が九、十人という多数のため話中が多く自由に利用できないという問題が生じています。

電話自動化促進協議会の設置

電話自動化の促進については、昭和四十五年十二月「電話自動化

◎支給される範囲

法に規定する基準により療養費に要する費用の十分の三に相当する額ただし、入院について一か月二千円、通院は三百円を控除す

る。

◎支給の方法

医療費を支払った翌月の十五日から支給されます。

促進協議会」を組織、同月第一回の協議会を開き、関係各機関へ要望書を提出しました。

自動化に要する経費

川辺、下麻生両局の普通電話並びに地集電話を自動化するには、約三億六千万円の巨費が必要で

す。この経費の負担について、現在

普通電話に加入している人はいりませんが、新しく加入される場合は次の表の区分により負担することになります。なお、地集電話については、普通電話加入に変更するよう関係当局へ働きかけています。

申込みについて

いままでは一般電話又は地域集団電話（昭和四十五年二月十九日付で追加申込された人）で申込された人以外で希望の人は、至急申込んでください。申込用紙は郵便局にあります。

電話架設所要料金 (見込額)

区 別	単独電話	2 共同電話
加 入 料	300 円	300 円
設 備 料	50,000	30,000
債 券	120,000	50,000

(注)

地域集団電話（農集）の場合は、次のとおりそれぞれ差額金の支払いを要します。

- 地集電話から単独電話に変更する場合

設 備 料	40,000円
債 券	60,000円
- 地集電話から2共同電話に変更する場合

設 備 料	20,000円
債 券	一 円

ヒヤーツとしたあの一瞬を忘れるな

老人と子どもの事故防止を重点に

秋の交通安全運動はじまる

きたる九月二十七日から、十月六日までの十日間、秋の全国交通安全運動がはじまっています。

この運動は、歩行者、運転者、運転者の雇主、その他陸上交通に關係のあるすべての人に、交通安全思想の徹底をはかり、正しい交通ルールの実行を習慣つけて、交通事故防止を図ることを目的としています。

重点事項として、歩行者事故、特に子どもと老人の事故の防止と飲酒運転の絶滅をはかることになっていきます。

悲惨な事故を起こさないために次のことからを守り、実施しよう
一、学校や保育園のまわりの道路など、特に子どもと老人の通行の保護をはかる必要のある道路について、交通環境の再点検を

行なう。

二、通学路など、歩行者の保護をはかる道路、交差点、横断歩道などを中心に、街頭における監視を強める。

三、運転者は、速度制限および一時停止などの励行、歩行者は正しい横断の励行を行なう。

四、十月二日は、子どもを交通事故から守る日として、幼児のとびだしおよび危険な遊びの防止をはかるため、愛の一声運動を盛りあげる。

五、いろいろな組織の協力を得て幼児および老人ならびに、その保護者に対する安全教育の推進を図る。

六、飲酒運転の追放を徹底し、地域、職域での交通事故発生誘因となる慣習を打破する。

七、運転者に対して、歩行者、とくに子どもと老人の事故、自転車事故の防止を中心とした安全知識の普及を図るとともに、車両の点検整備の励行と、運行管理および安全運転管理の適正を図る。



交通安全協会川辺支部は27日町内の 保育園を訪問、交通安全標語入り風船をよい子たちにプレゼントしました。

第2回全日本女子選手権競漕大会

○と き 10月9日～10日

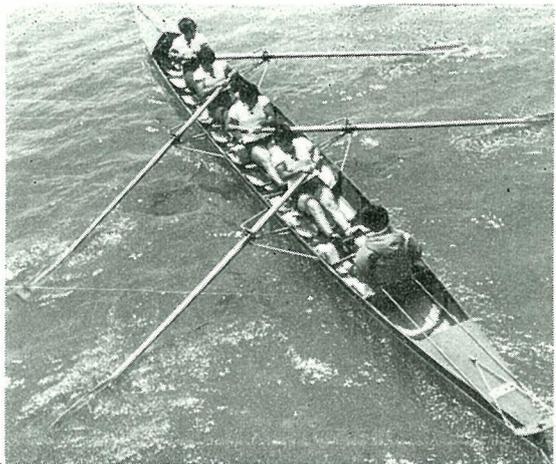
○と ころ 川辺ダムコース

○参 加 滋賀相互銀行、名古屋三菱商事、中京大学、千葉県小見川町役場、大日本インキ浦和一女クラブ、早稲田大学、滋賀県八幡商業高校、トヨタ自工、一ツ橋大学、東京外国語大学、小野学園女子高、若狭高校、宮古高校、住友生命、恵那高校、海津高校、松坂屋、海南高校、庄内川クラブ、中部電力、飛水会

○主 催 日本漕艇協会

○主 管 岐阜県漕艇協会

○後 援 川 辺 町



お元気で

九月十五日は「敬老の日」。この日は長年にわたって社会にくすきてきたおとしよりに、健康で明るい毎日を過ごしていただきとうと、みんなで長寿をお祝いする日です。

町では各地区ごとに十月中旬七十五歳以上のおとしよりをお招きしてお祝いすることになっております。

最近では生活環境の改善や医学の進歩などによって、平均寿命が大きく伸び、川辺町でも九十歳以上の方が十六人おられます。

今月は敬老の日になみ九十歳以上の方をたすね、近況をお伺いしました。

長寿のため手足が不自由とか耳が遠いという方が多かったので、中には元気に草とりや針仕事をしてみえる方もおられました。



大脇かなさん (92) 比久見

伺ったときはまだまだ元気そうに軒下の草引きをしてみえた。おかげでごはんもおいしく、毎晩ブドウ酒を少しづついただいでみえるとのこと。

「耳は遠いがまあーんだ畑ぐらいは…元氣なおばあさんでした。」



岩井こぎんさん (92) 比久見

「毎日なあーんにもしやせん。寝とるだけ。こんだけだしにしもらってういこっちゃん。もった



加藤こぎさん (92) 比久見

「若い者が百まで生きなといってくるが、それも生きておってはおもならん。毎日なんにももうやらん。寝るのが仕事じゃ。退屈でしかたないわ。」

「ごはんは一膳つつ三度三度ちよつともまずいと思つたことはないわ。」 請求されることも時々あると孫嫁さん。



加藤せつさん (91) 鹿塩

まだまだ丈夫ですので天気の良い日は外で草引きなどしております。五年ほど前までは岐阜へ卵を売りに二十年間通いました。汽車の中で旅先の人達とお話するのが楽しみでした。

食事もおいしくいただいております。

「当町いちばんの高齢者であるおばあちゃん。元氣にわらぞうりを作ってみえました。ごはんもおいしくなんでも食べられ耳は遠いが目はよくみえ他に悪いところはないうのことーとても百歳とは思えないほどの元氣さでした。」



木下津さん (98) 下川辺

二年くらい前までは庭の草引きぐらいはできましたが、今は何もしないでブラブラしております。

食べ物は今でも変りなくおいしくいただけます。

耳が遠くなったが目はまだよくみえる。ーと家族のかた。



木沢いつよさん (94) 鹿塩

ない。こう長生きしてない。体はどっこも痛いところもかゆいところもない。まめでまめで若い者が大切にしてくれるで本當にもったないこっちゃん……。」

「食べ物好き嫌いはなくなんでも食べます。耳も近いし目もよくみえ身体のことって悪いところもないので天気の良い日は畑仕事をしています。」

伺ったときも畑で仕事をしてみえ、まったく元氣のよいおじいちゃんでした。



桜井金一郎さん (93) 下川辺

「耳がたいへん遠くなりました。足が不自由ですので家はかりにおりますが退屈ですので家の糸のつなぎの手伝いなどをしております。食事は一膳づついただきますがこの十七年間お医者さんにかかったことはありません。」



交告ひささん (92) 福島

いつまでも



高井よねさん
(94) 比久見

目が不自由なので寝てみえるようす。ごはんはのどにつかからず、おじや、おかゆ、うどんなどのやわらかいものを食べられる。寝ころんで神様や仏様を拝んでいるのが毎日の仕事です。―とは家の人のなしてした。



平岡ようさん
(92) 石 神

目は近いし耳もよく聞こえるがテレビは疲れるからあまりみないといわれる。足、腰、下半身の具合が悪いので仕事はできないがひ孫達といっしょに遊んでいる毎日子供達がよくしてくれるので苦勞はなく、遊びに連れて行つてやるといつてくれるが車がきらいなので出かけないとおっしゃる。この前の選挙にはリヤカーに乗せて行ってもらいました。



嶺川なかよさん
(91) 下川辺

耳もよく聞こえるし足も達者ですので近所へ遊びに行きます。お寺が近いのでよく散歩に行かれるいただきます。いままで三べんくらいわずらったことがありますが近頃は病氣らしい病氣はしたことはありません。



村瀬ひなよさん
(90) 下麻生

神経痛はあつても内科で悪いところは絶対ないといわれる。お針が好きで耳が遠くなつてもメガネだけは世話にならなくてよい。食へ物はなんでも食べられ、特に野菜と海草は大好物で長生きへの秘けつだそう。孫が外国へ出張するので帰つてから話を聞くのが楽しみ。又、自分の名前を英語で教えてくれたので今でも英語で書くというなかなかハイカラなおばあちゃん。生きていながら病氣もせず皆んなに世話をかけないようにと、洗濯も自分でやられるとか。



村山かるさん
(93) 石 神

「心臓が丈夫で長いこと生きれると医者がいわれるが、まあいつまでおれるやら、よわったなあどっこも行かんがおもてをブラブラ歩くだけ。」

最近、神経痛が体に入って、ともすればひと晩中寝つかれんことがあるといわれる。でもごはんは毎日食へることができ、よそで元氣に働いている子供達とときどき来てくれることがただひとつの楽しみですといわれる。



安田由三郎さん
(92) 中川辺

手が思うように動かないが字を書いたり新聞をみたりされている毎日。耳が少し遠いがメガネはいらない。小説が好きで「木下藤吉郎」「徳川家康」を一度読んだこともあるそう。酒は一日に二、三回に分けて一合。ビールはコップに一杯少々。と家のかた。



渡辺つるさん
(93) 中川辺

若い時からうめぼしが大好きで毎日二つか三つ。歯医者だけは一度も行ったことがなく、食へ物は腹八分目、間食をしないことが長



渡辺やすさん
(91) 比久見

寿の秘けつとのこと。遠いところへ遊びに行つてころんで皆んなに迷惑をかけるより、行ったことや見たこともないことをテレビで見るのがいちばん楽しいといわれた。

「こないだ耳が遠なつても、ごはんかな、ごはんは毎日一膳つつ食へよう。いつまでも世話になつておるがな。ありがとうございます。ひ孫の子もりをしたり台所や庭を掃除するぐらいでなもなも……。」

どのお年寄りをみても、人それぞれに余生を楽しく過ごしていらつしやいます。その姿こそ、遠くなる明治から今日まで元氣に生きてこられた尊い生きることの喜びなのです。家族に愛され、社会奉仕に尽された立派なお年寄りに私達は敬意を表するとともにいつまでも元氣であつてほしいと願いたいものです。



向って右から

らんらん
ささささ
ヨ義太
キ政馬
中川左
広小 小
小 栗

..... うれしいたより

拠出制金 支給はじまる

小川さんら4人に年金証書

ことしの四月から拠出制国民年金のうち、老令年金の支給が開始されました。

町でも初めて受給されることになった小川政義さん(65) 中川辺、広中キヨさん(65) 中川辺鈴木左馬太さん(65) 下川辺、小栗はるゑさん(65) 比久見の四人の方々にさる八月十日田原町長から年金証書が伝達されました。受給者の皆さんは「加入してきてよかった。長生きしなければ……」と顔をほころばせておられました。この年金は、保険料を十年間(保険料金額二万五千八百円)を納めてきた人が、満六十五歳から受給されるもので、年間六万円の年金が四回に分けて支給になります。

明るく正しい選挙

ポスター入選者きままる

町選挙管理委員会は、町議会議員選挙を明るく正しくおしすすめようと町内の小中学校の児童生徒から、ポスターを募集しました。応募作品はいずれも立派なできばえで審査の先生方を悩ませましたが、厳選の結果次の皆さんがそれぞれ入賞しました。

入賞作品

〔小学校〕

特選▽三年 鈴木真奈美(川辺小) 横山美智代(上米田小) 山田登美子(同) 井戸弘希(下麻生小)▽四年 加藤かおり(川辺小) 水野宏美(同) 高谷晴夫(同) 加藤美保子(同) 小川浩道(下麻生小)▽五年 村山富子(川辺小) 田原真一(同) 栗山真理子(同) 佐藤明子(同) 佐伯美智代(下麻生小)▽六年 福田伊津子(川辺小) 牧田政治(上米田小) 山田幸子(同) 木下工(下麻生小) 入選▽三年(川辺小) 村山雅子 富松和成、柴田真弓、則武義昌(上米田小) 小栗こうへい、交告みどり、船戸えみ、肥田聡、肥田伸、山田明美、所雄治、肥田雅人(下麻生小) 大平昌代、井原由紀夫、佐伯悟三▽四年(川辺小) 桜

井千鶴子、岡本元美、坪内悦子、平田千恵美、坪内かおり、堀井敏之、木村恭子、清水美枝子、山口勝弘、桑畑久香、武市博江、江口直孝、小谷新、中村浩二、武市美奈子、栗山久、金沢貴志、天池靖子、松川勉、佐藤裕子、石本みゆき、平岡忍、井戸千代美、桜井真理(上米田小) 林恭子(下麻生小) 所光義、玉置ひとみ、丹羽恵美子

▽五年(川辺小) 篠田裕二、古沢恵美子、堀井賢二、井上このみ、肥田洋平、金沢浩二、神田佳子、横田誓子、水野千春、清水友子、渡辺奈緒美、栗山真理子、平岡達也、木沢裕樹、牧田啓二、山田紀美子(上米田小) 肥田克子、大脇康代(下麻生小) 佐伯景、村瀬聡子、▽六年(川辺小) 矢島直行、犬飼幸子、奥田美喜男、桑畑典洋 井戸真樹、岩井一浩、村井弘美、堀江みさと(上米田小) 土屋紀子 加藤宗秀、小森明彦(下麻生小) 藤掛ゆうじ、佐伯みのり、兼岩やすし、長野三枝子

〔中学校〕

特選▽一年 土谷弥生、木沢正明、小栗正幹、井戸あおい、木沢義一、▽二年 井戸啓二、井上

敏子、武市淳子、横山万里子、林誠、▽三年 矢島由紀子、木沢晃 井戸賢治、村瀬恭子、佐藤光宏 入選、▽二年 松川敦美、神田京子、加藤嘉博、渡辺紀代美、井上はるよ、江口登茂美、小森好子 馬場まゆみ、牧田八千代、加藤末美、堀江一久、▽三年 安田守良 市原伊代子、井戸光子、木下美保 奥田哲也、武石文雄、白村たかみ 則武淳子、酒向正夫、前島さち子、井戸清八、小川雅明、鬼頭馨、加藤由美子、加藤清、日比野哲也 高木佳子、木下喜代子、安田達夫 杉山幸寛、桜井愛里子、村山修

たすけあって みんなが しあわせに!

10月1日から

共同募金





装いあらたに 第二艇庫が完成

秩父宮妃殿下をお迎えして行なわれる第二回全国女子選手権競漕大会にそなえ、ことしの八月から工費二千万円で建築工事をすませてきた川辺漕艇場第二艇庫が完成しました。いまは艇庫前広場のほ

装工事をなっています。艇庫は、間口十五呎、奥行十七呎、延面積二百五十五平方呎、鉄骨造りモルタル、スレート仕上、屋根はカラー鉄板ふき二階建て、一階は艇庫、浴室、便所、倉庫など、二階は会議室と宿泊室になっております。



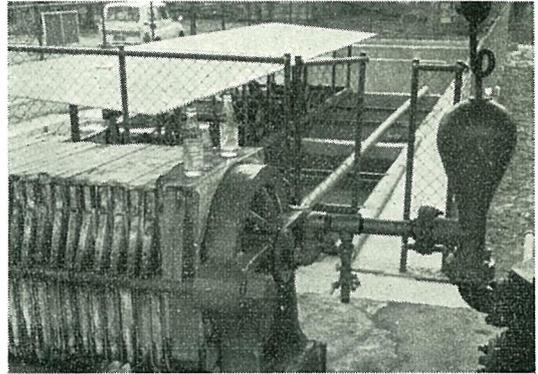
「早く大きく育つて」 鹿塩休猟区へキジを放つ

町猟友会は、さる九月十四日八百津町久田見の各務さんから生後三か月のキジ十五羽（おす八羽、めす七羽）を受取り、鹿塩地内休猟区へ放鳥しました。三時間の箱詰めの旅から解放されたキジは羽ばたきも軽やかに、初秋の空高く飛んでいきました。

排水処理OK

— 濃飛タイル —

川辺町西栃井「濃飛タイル株式会社（社長奥村敏泰氏）」は、工場排水の浄化のため、工費三百八十万円を投じ「排液処理装置」を設置しました。この装置により一日約六十トンの工場排水をろ化浄化します。



農園経営が夢

村山富則君ブラジルへ

村山富則君（21）（石神村山武雄氏二男）は、県内でたゞ一人の農業移民としてブラジルへ渡航することになり、さる八月二十九日横浜港を出帆しました。同君は高校卒業後、群馬県の「赤城海外訓練所」で六カ月間の

研修を受け、渡航後はブラジルサンパウロ市に在住の平守雄氏（高山市出身）が経営する農園で働くことになっております。同君は出発に際し「一日も早く独立し、農園を経営するのが目的です。」と抱負を語りました。

（写真の説明）

右から 祖父 春寿さん
父 武雄さん



本人 富則君
母 いち子さん
兄 延寿さん

おしらせ

おねがい

家屋の再調査を行います

家屋の評価額は、国の示した統一された固定資産評価基準によつて評価するのが原則であります...

戸籍相談所を開きます

10月27日午前10時から

戸籍制度創設百周年を記念して町では、次のとおり法務局、家庭裁判所係官、市町村戸籍担当者...

準によつて調査する計画であります。調査に当りましては、お忙しいところご迷惑をおかけすること...

調査期間 約二年間で町内の全家家屋を調査する予定です。調査方法 調査員がお伺いし、各棟ごとに、屋根、基礎...

調査日 お伺いする数日前に、連絡する予定です。

猟銃の取扱いは慎重に 十一月一日から翌年の二月十五日まで、狩猟が解禁になります。

よつて、さらに制限があります。鳥類では、キジ、ヤマドリ、ユジユケイ、カモ額、ヒシクイなど二十数種...

問題解決に役立つことと考えられます。せつかくの機会でもありますので、戸籍上の問題、親子間の問題...

日時 十月二十七日(水) 午前十時~午後三時 場所 川辺町役場、会議室 相談無料、秘密厳守

昭和46年度後期狂犬病予防注射日程

Table with 3 columns: 実施年月日, 時間, 場所. Rows for October 11 and 12, 1971.

狂犬病予防注射料金 1頭 1回につき 310円

広報のしおり

秋のお彼岸を過ぎたと思つたら、十月はもう駆け足でやってきました。日が短くなつたせいとか、つくづく夜が長くなつたことに気がつきます。

夜業に精が出、読書に身のはいるのもこのころでしょうか。涼しくなつたら読みだそうと思つて手もとにおい

火災のときは「かじ」と呼んでください。

電話「火事番」ができました

消防署にあたらしく「火事番」の電話が開設されました。この電話はみなさんがもし火災を発見された時に局を呼んで「火事」と

云つていただければ消防署が出るしくみになっています。火災の時はすぐ「火事」と呼んでください。

本を、今夜こそ...と思ひ、読みだしたら、しまいまでとうとう読み切つてしまつたという人の話もよく聞きます。子どもさんたちも、いまが一番お勉強のしやすいときではないでしょうか。とくに上の学校へ進学のお子さんには、めぐまれた季節といえましよう。